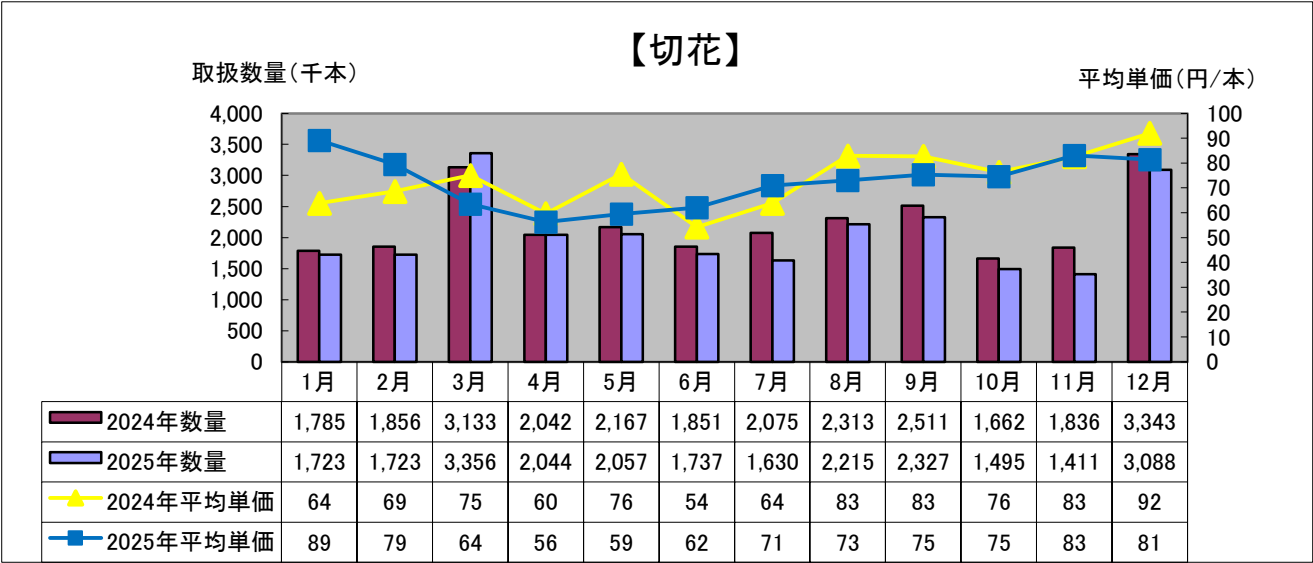
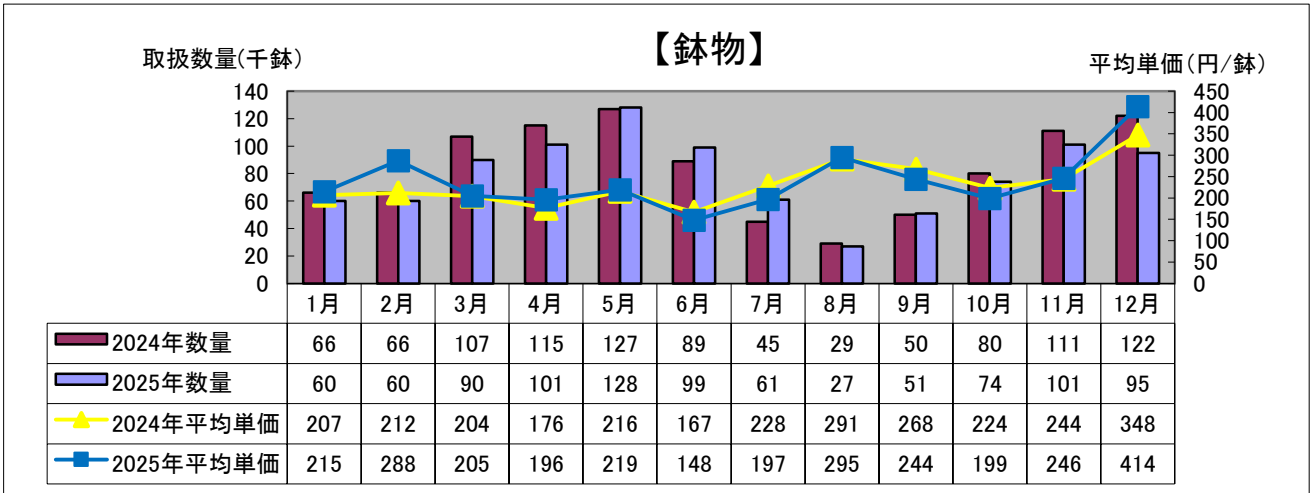


令和7年(2025年)12月 花き部 種類別市況



年末需要の影響で、各品目高値で推移しました。数量はやや減少、平均単価はやや高く推移しました。

前年比数量 92%、平均単価 103%で終了しました。



11月に好調だった花苗だが、12月に入り価格が低迷した。花鉢もシクラメンをはじめ、前半はある程度昨年並みに推移しましたが、中旬以降急激に価格が低迷しました。全体的に見るとかなり厳しい価格相場になりました。数量はかなり減少、平均単価は高く推移しました。

前年比数量 78%、平均単価 119%で終了しました。